

事業報告書	里親センターなら
-------	----------

令和7年度・事業報告

1. 運営理念及び運営方針

社会福祉法人天理は明治43年4月1日天理養徳院開設に当たり初代真柱中山眞之亮様が詠まれた「人の子も我子もおなしこゝろもて おふしたてゝよ このみちの人」を運営の基本理念としている。又、活動目標としては「朝起き、正直、働き」を掲げ、その実践に取り組みを行っている。

里親センターなら（以下「当センター」）は、天理教の教え、並びに社会福祉法人天理の基本理念に基づき、里親等に係る支援を包括的に実施し、家庭養育の推進を行い、児童の養育環境の向上を図る。

2. 事業の目的

当センターは、里親及び小規模住居型児童養育事業（以下「ファミリーホーム」という。）に従事する者（以下「里親等」という。）、その養育される児童（以下「里子等」という。）並びに里親になろうとする者について相談その他の援助を行い、家庭養育を推進するとともに、里子等が心身ともに健やかに育成されるよう、その最善の利益を実現することを目的とする。

3. 施設の概要

- (1) 開設：令和6年4月1日
- (2) 運営主体：社会福祉法人天理（理事長：板倉 知幸）
- (3) 名称：里親センターなら（施設長：阪口 千晴）
- (4) 事業名称：里親支援センター事業（第二種社会福祉事業）、奈良市委託里親支援事業
- (5) 所在地：奈良県天理市別所町715番地3（法人本部と同敷地内）
- (6) 設備：

専有部分	事務室（書庫・金庫・NAS等設置）、公用車2台（軽自動車）
共有部分	相談室・プレイルーム・談話室・キッズルーム ⇒センターてんりと共有 研修室・地域交流室・講堂・駐車場・トイレ ⇒法人全体で共有

- (7) 開所日：月曜日から土曜日（祝日及び12月30日から1月3日までを除く）
- (8) 開所時間：平日…9時から18時 土曜日…8時30分～17時30分
- (9) 連絡先：

電話番号	0743-85-5567
F A X	0743-68-1721（児童家庭支援センターてんりと共有）
メー ル	foster-support@welfaretenri.com
H P	https://satooya-nara.com
S N S	Instagram、Facebook、X、LINE

- (10) 職員：合計8名

No	役職	職種	資格
1	施設長	里親支援センターの長	社会福祉士・精神保健福祉士
2	相談役	里親等支援員	教員免許 ・児童養護施設勤務経験者

3	主任	里親等支援員	保育士 ・ 児童養護施設勤務経験者
4	相談員兼事務員	市町村連携支援員	社会福祉士
5	相談員	里親トレーナー	児童指導員 ・ 児童養護施設勤務経験者
6	相談員	里親等支援員	保育士 ・ 児童養護施設勤務経験者
7	相談員	里親リクルーター	社会福祉士 ・ 児童養護施設勤務経験者
8	心理相談員	里親等支援員	公認心理師 ・ 臨床心理士

4. 令和7年度の特記事項

(1) 啓発活動の新たな取り組み

① ホームページのリニューアル

多くの方に里親制度を周知啓発できるよう、また、里親家庭にいち早く情報を届けることを主たる目的として、当センターのホームページをリニューアルした。新しいホームページには、問合せフォームや里親専用ページなど、新しい機能を取り入れた。

② インスタグラムの広告掲載

インスタグラムを活用し、里親制度説明会の案内や里親関連イベントの報告を実施した。とりわけ、里親制度説明会やシンポジウムの案内などは、実施準備期間を中心に、広告料を支払い、閲覧ターゲット層を定めて、数多く掲載することで、フォロワー増加並びに参加者増員につなげることができた。

③ オンラインによる里親制度説明会の実施

多くの方に里親制度を知ってもらえるよう、下半期で計3回の「オンライン里セツ」を実施した。オンライン会議ソフト（zoom）を使用し、申し込みやアンケートなどもオンラインで書き込めるようにした。

(2) 里親研修の見直し

① 法定研修の見直し

令和6年度後半に、こども家庭庁より「養育里親研修の適切な実施について（令和6年10月18日・こ支家第525号）」及び「養子縁組里親研修制度の運用について（令和6年10月18日・こ支家第531号）」の通知文に伴い、養育里親並びに養子縁組里親になるために必要な「里親基礎研修」及び「里親登録前研修」について、また登録の更新に必要な「里親更新研修」について、内容を全面的に見直し、受講者の理解がより進むようにつとめた。

② 里親トレーニング講座の見直し

里親として子どもの委託を受けていない里親をメインターゲットとし、里親が委託後に安心して子どもの養育に取り組めることを目標に実施している里親トレーニング講座について、より社会的養護下の子どもの対応を理解してもらえるよう、子ども達とのふれ合いの機会を新たに設けた。具体的には、奈良県ファミリーホーム協議会協力の下、ファミリーホーム委託児童と未委託里親との交流の機会を設けた。

(3) 里親認定式の実施

奈良県こども家庭課と共催の下、奈良県として初となる「里親認定式」を実施。里親認定された里親家庭に対する通知を、書面だけでなく手渡しで行い、児童相談所や奈良県里親会など、支援者と顔合わせをすることで、新たに里親となった世帯が安心して里親養育に取り組めるよう、また、支援者と顔の見える関係を実施できるようにつとめた。

(4) 長期休暇中のレスパイト・ケアに資する企画

夏休み中の里親家庭の負担軽減を主たる目的として、レスパイト・ケア企画を実施した。里親家庭で暮らす概ね小学生以上の児童を、当センターに日中預けてもらい、子ども達の

対応を当センターの職員が実施。今回は天理市内で実施される天理教教会本部主催の「夏のこどもおぢばがえり」への参加と、「宿題がんばろう会」を行うことができた。

(5) 自立生活支援研修会の運営

里親家庭やファミリーホームで生活する高校3年生を対象に実施されている「自立生活支援研修会」について、これまでは他の法人が担っていた運営を、当センターが担当することとなった。子どもたちが社会で自立していくために必要なコミュニケーション力や生活スキルを学ぶ機会を提供することができた。

(6) 市町村連携支援業務の実施

児童福祉施設における施設機能強化推進費を活用し、当センターとして初めて「市町村連携支援員」を配置し、出張版の「里セツ」や広報誌への掲載、ショートステイ利用促進（保険料負担）など、県内各市町村との連携を強化した。

(7) 開所時間の変更

当センターは平日及び土曜日の午前9時から午後6時を開所としていたが、職員の働きやすさ向上に資するため、土曜日の開所時間を30分早め、午前8時30分から午後5時30分とした。

5. 実施する事業内容

(1) 里親制度等普及促進・リクルート業務

① 啓発物品の作成

ポスター・リーフレット・チラシ・ボールペン・ウェットティッシュ・マグネットクリップ

② 啓発物品の配布

上記①の資料を下記の機関に配布した。

県庁及び分庁舎・児童相談所・市町村児童福祉関係課・教育委員会・社会福祉協議会・公民館・奈良県助産師会・奈良県産婦人科医会・市町村民生児童委員協議会・イオングループ店舗・天理教奈良教区内の各教会及び各布教所・天理教信者詰所・浄土宗奈良教区教務所・浄土真宗本願寺派奈良教区教務所・カトリック教会・カトリック系幼稚園・プロテスタント教会

③ 広報誌への啓発文掲載

10月の里親月間に、県内各市町村の広報誌に、里親制度啓発文の掲載依頼を行い、33市町村の広報誌に掲載された。

④ 里親月間を中心とした街頭啓発活動

10月を中心に、県内主要駅や大型イベント、大型商業施設会場にて、街頭啓発活動を行い、啓発物品の配布を行った。また会場に合わせた様々な活動を行った。

実施日	イベント（種別）／会場	配布部数 ※活動内容
10月 2日（木）PM	近鉄大和西大寺駅（里親会）	700部
10月 9日（木）PM	近鉄・JR王寺駅周辺	700部
10月16日（木）PM	近鉄大和八木駅周辺	600部
10月19日（日）PM	五條市「水辺でチルしよ」	360部 ※射的实施
10月23日（木）PM	五位堂駅周辺	600部
10月30日（木）PM	生駒駅周辺	800部
11月 1日（土）PM	ヒューマンフェスティバル	200部 ※団子販売
11月 3日（月）終日	山添村「やんばい祭り」	500部 ※射的实施
11月 3日（月）終日	天理市「じゃんじゃん市」	1,000部

11月 4日(火) AM	近鉄奈良駅(虐待防止啓発)	200部
11月 6日(木) AM	イオンモール奈良登美ヶ丘	300部
11月 7日(金) 終日	〃	1,000部
12月 8日(日) 終日	奈良マラソン	3,000部
	全13回 配布合計	9,960部

⑤ 里親制度説明会「里セツ」の開催

ア) 月イチ里セツ

毎月第2土曜日・日曜日の午前10時～11時30分、里親センターなら研修室を会場に、定例の里親制度説明会を開催した。

開催日	人数	開催日	人数
4月13日(日)	3名	10月12日(日)	1名
5月10日(土)	1名	11月 8日(土)	7名
6月14日(土)	3名	12月13日(土)	6名
7月13日(日)	4名	1月11日(日)	8名
8月10日(日)	7名	2月 8日(日)	5名
9月13日(土)	1名	3月14日(土)	4名
		全12回合計	50名

イ) オンライン里セツ

里親制度の説明を自宅で受講できるよう、zoomによるオンラインの里親制度説明会を、下記の日程の午前10時～11時30分で実施した。

開催日	人数
10月23日(木)	3名
12月18日(木)	1名
2月17日(火)	4名
全3回合計	8名

ウ) 市町村里セツ

県内市町村を会場に、出張版の里親制度説明会を開催した。なお、本事業は里親支援センター強化事業の市町村連携事業として実施した。

開催日時	会場	人数
9月14日(日) AM	生駒市コミュニティーセンター	5名
11月16日(日) AM	山添村役場 大会議室	7名
11月29日(土) AM	橿原市万葉ホール 4階視聴覚室	15名
1月31日(土) PM	五條市役所 1階大会議室	19名
	全4回合計	46名

エ) 出前講座

県内各諸団体の要望に合わせて、児童福祉や児童虐待、社会的養護、里親制度に関する様々なテーマで講師として職員を派遣した。

開催日時	主催(対象) / 会場	人数
7月 8日(火) PM	奈良県医師会看護専門学校	38名
7月17日(木) AM	奈良佐保短期大学講義	9名
9月 3日(水) PM	嘉幡保育所 職員研修会	18名
9月18日(木) PM	嘉幡保育所 職員研修会	15名
10月 3日(金) AM	指定障害福祉サービス事業所なごみ研修	9名

11月11日(火) AM	橿原市民生児童委員協議会研修会	32名
11月22日(土) PM	奈良県人権推進協議会 大会	154名
1月17日(土) AM	天理学寮北寮 職員研修会	20名
1月23日(金) PM	ぽこあぽこ保育園 職員研修会	8名
2月25日(水) PM	浄土宗奈良教区人権同和研修会	53名
全10回合計		356名

オ) 社会的養護関連団体からの各種研修依頼による登壇

開催日時	主催(対象)/会場	人数
5月28日(水) AM	近畿地区ファミリーホーム協議会研修会	54名
9月26日(金) PM	日本財団こどもWEEKEND2025	不特定多数
10月21日(火) PM	里親支援情報交換会	不特定多数
2月1日(日) PM	NPO法人童心の会	20名
3月8日(日) PM	三重県里親スキルアップ研修会	20名

カ) 大学講義

奈良学園大学人間教育学部人間教育学科における「社会的養護Ⅰ・Ⅱ」の講義に、職員を非常勤講師として派遣した。

⑥ シンポジウムの開催

児童家庭支援センターてんりと共催で、「地域で子育てシンポジウム ～未来を育む、天理の子育て力～」を開催した。詳細は以下の通り。

○日時: 令和8年2月14日(土) 午後1時30分～4時30分(受付開始は午後1時)
○会場: 天理市文化センター 3階文化ホール ○参加: 74名
○内容: 基調講演・パネルディスカッション・パネル展示
○後援: 奈良県・天理市・天理市教育委員会・天理市社会福祉協議会・天理大学・奈良県里親会

なお、本事業は里親支援センター強化事業の市町村連携事業として実施した。

⑦ ホームページ及びSNSの運営

ア) ホームページのリニューアル

当センターのホームページをリニューアルし、問合せフォームや里親専用ページ、里親体験談など、新しいコンテンツを掲載した。

イ) SNSの活用

インスタグラムやフェイスブック、公式LINEアカウントを活用し、里親制度説明会の案内や、体験談の紹介を行った。また、Meta広告を使用し、インスタグラムやフェイスブックなどで広告を配信した。なお、配信期間は以下の通り。

内容	配信期間	内容	配信期間
生駒市里セツ	7/23～9/14	オンライン里セツ	9/24～10/23
山添村里セツ	9/17～11/16	オンライン里セツ	11/18～12/18
橿原市里セツ	10/1～11/29	オンライン里セツ	1/20～2/17
五條市里セツ	11/28～1/31	シンポジウム	12/14～2/17

⑧ パネルの展示

奈良県こども家庭課協力の下、里親制度啓発パネルを以下の通り掲示した。なおパネル展示については、前述のイベント啓発時にも実施した。

掲示先	掲示期間	掲示内容
奈良県立図書情報館	11月18～24日	里親制度啓発パネル5枚

⑨ デジタルサイネージによる掲示

奈良県子ども家庭課協力の下、里親制度啓発画像を、以下の通り上映した。

掲示先	掲示期間	掲示内容
奈良県警	10月中	里親制度啓発画像3枚
イオンモール2か所	10月中	〃

(2) 里親研修・トレーニング等業務

① 養育里親研修 及び 養子縁組里親研修 (法定研修)

ア) 里親基礎・登録前研修…里親登録に必要な研修

- ・里親基礎研修並びに里親登録前研修①及び②を計画し、計4回実施。
- ・里親基礎・登録前研修 里親種類別 修了者数

種類	世帯	人	種類	世帯	人
養育里親	13	22	養育・養子縁組里親	7	13
養子縁組里親	5	10	親族里親	0	0

* 子ども家庭庁策定の「養育里親研修カリキュラム」に基づき、資料を作成した。

* 講義の部の第1期・第3期は里親センターならで、第2期・第4期は奈良市子どもセンターで実施した。

* 実習の部について、養育里親希望者には県内の児童養護施設、養子縁組里親希望者には、県内の乳児院での実習を実施した。

イ) 里親更新研修…里親登録の更新に必要な研修 (法定研修)

- ・里親更新研修を計3回開催。
- ・里親更新研修 里親種類別 修了者数

種類	世帯	人	種類	世帯	人
養育里親	4	23	養育・養子縁組里親	7	14
養子縁組里親	6	12	親族里親	0	0

* 子ども家庭庁策定の「養育里親研修カリキュラム」に基づき、資料を作成した。

* 講義の部の第1期・第2期は里親センターならで、第3期は奈良市子どもセンターで実施した。

* 委託経験のない里親については、養育里親には県内の児童養護施設、養子縁組里親には、県内の乳児院での実習を実施した。

③ 専門里親研修 (法定研修)

ア) 専門里親認定研修…専門里親登録に必要な研修

- ・今年度の受講者は無かった。

イ) 専門里親更新研修…専門里親登録の更新に必要な研修

- ・専門里親研修を主催する学校法人早稲田大学、並びに社会福祉法人麦の子会に委託し、奈良県内で専門里親として登録することを推薦された里親に対し、研修受講案内、及び準備、資料提供、受講料及び旅費の支払いを行った。
- ・受講者数

奈良県中央子ども家庭相談センター管轄	2名
奈良県高田子ども家庭相談センター管轄	2名

④ 里親トレーニング講座

これから子どもを迎える里親(未委託里親)を対象に、「里親トレーニング講座」を2回開催した。詳細は以下の通り。

○日時：令和7年9月6日(土)午後1時30分～4時
○会場：里親センターなら研修室 ○参加：3世帯 4名
○内容：講義・ワーク

○日時：令和8年3月7日（土）午前9時～午後4時
○会場：里親センターなら研修室及び市内 ○参加：4世帯 6名
○内容：奈良県内ファミリーホーム委託児童との交流（いちご狩り体験）

⑤ 里親スキルアップ研修

奈良県里親会後援により、里親の養育スキルの向上に資するための「里親スキルアップ研修」を2回開催した。詳細は以下の通り。

○日時：令和7年6月8日（日）午後2時40分～4時30分（奈良県里親会総会後）
○会場：奈良県社会福祉総合センター ○参加：23世帯 33名
○内容：子どもの権利擁護について（講師：大和育成園施設長岡田悟氏）

○日時：令和8年1月31日（土）午後1時30分～4時30分
○会場：里親センターなら研修室 ○参加：12世帯 15名
○内容：大人になった養子当事者の声「伝えたい私たちの思い」（講師：志村歩氏）

(3) 里親委託推進等業務

① 里親とのマッチング業務（里親支援実務者会議の運営）

里親支援実務者の情報共有を密にし、マッチングをスムーズに実施するため、「奈良県里親支援実務者会議」を開催した。

○日付：5・9・1月を除く主に第4月曜日
○会場：里親センターなら
○内容：委託検討、一時保護や週末里親の確認、啓発、交流、研修、自立支援 他

② 自立支援計画への助言等

年度のスタート時に県内にある3ヶ所の児童相談所と、当センターが関わる里親委託児童の情報共有を行った。その上で、児童相談所が児童自立支援計画の作成にあたり、方針の確認を行った。また、前述の里親支援実務者会議、並びに、里親支援個別ケース検討会議等に出席し、児童相談所との情報共有を行った。

③ 里親委託等推進委員会の運営

里親委託等推進及び支援の充実のため、「奈良県里親委託等推進委員会」を開催した。

○日付：5・9・1月の主に第4月曜日
○会場：奈良県中央こども家庭相談センター
○内容：委託率の確認、昨年度実績や今年度目標値確認、里親支援実務者会議の報告、家庭体験ふれあい事業、里親アンケート調査、自立支援、里親登録認定式等

④ その他里親等委託推進に資する業務

ア) 家庭体験ふれあい事業の実施

「家庭体験ふれあい事業」実施にあたり、受け入れ里親に対して生活費を支給し、里親賠償責任保険の短期保険の保険料を支払った（奈良市管轄除く）。

・実施件数

奈良県中央こども家庭相談センター管轄	43
奈良県高田こども家庭相談センター管轄	162
奈良市子どもセンター管轄	17

イ) 里親家庭でのショートステイ及びトワイライトステイの保険事務の実施

奈良県内の市町村で子育て短期支援事業（ショートステイ・トワイライトステイ）の預け先として、里親家庭を選択した際の里親賠償責任保険について、保険料を支払った。なお、本事業は里親支援センター強化事業の市町村連携事業として実施した。

・市町村別利用件数

市町村名	件数	市町村名	件数

大和高田市	20	田原本町	35
橿原市	5	広陵町	11
御所市	9	大淀町	33
三郷町	11		

ウ) 里親登録者への現況調査の実施（アセスメント）

年度初めに奈良県内の里親登録者に対し、現況調査書の配布を行い、里親家庭の家族構成、受け入れ可能な児童、短期的な活動の有無を確認した。

エ) 里親満足度調査の実施

令和6年度末に実施した「奈良県里親支援ニーズ調査（アンケート）」について集計を行い、当センターのホームページにて公表した。

(4) 里親訪問等支援業務

① 里親等への情報提供・訪問支援

里親家庭や委託児童、里親登録希望者等からの相談を受け付け、対応した。なお、訪問支援、来所相談、心理療法、電話相談、メール相談の件数は以下の通り。

年間受理件数	127
年間対応件数	1,560

ア) 訪問支援

下記の委託期間に合わせて回数設定すると共に、各状況に応じて実施した。必要に応じて、所管するこども家庭相談センターの担当職員に同行を依頼した。また、各ケース、「里親支援実務者会議」や、「個別ケース検討会議」などを通して、関係機関との情報共有を行い、訪問時の支援が円滑に実施できるように努めた。

イ) 来所相談

事業所内には、防音機能のある相談室やプレイルーム、また、小さな子ども連れの方でも利用できるキッズルーム、幼児用トイレがあり、様々な方が安心して相談できる設備を維持した。

ウ) 心理療法の実施

専任の心理相談員を配置し、里親委託児童や元委託児童、養子縁組成立後の児童、里親家庭の実子に対し、プレイルームを使用したプレイセラピーを実施した。

エ) 電話相談

専用ダイヤルを使用した。

オ) Eメール等の相談

専用アドレス、ホームページ上のオンラインフォーム、またLINE公式アカウントを使用して、里親が養育中に気軽に相談できるようつとめるとともに、Instagramの開設に伴い、ダイレクトメッセージの受け入れも行った。その他、手紙やFAX等を利用した相談にも対応した。

カ) 親子の再統合に向けた面会交流支援

親子再統合や家族再統合が必要なケースについて児童相談所と当センターとで連携し、面会交流の支援を行った。

キ) 夜間・土日の相談支援体制

夜間・土日など、児童相談所の通常時間外の対応については、土曜日の午前8時30分～午後5時30分を開所日とし、職員を割り当て、里親等からの相談対応を行った。また、里親研修や里親会活動など状況に合わせて日曜日及び祝日を開所し、里親支援を行った。加えて夜間は公式LINEにおいて相談方法の促しを行った。

ク) 里親認定式の実施

奈良県子ども家庭課と共催の下、奈良県として初となる「里親認定式」を実施。里親認定された里親家庭に対する認定証並びに記念品の贈呈を行い、関係機関職員との顔合わせや奈良県里親会入会案内を行った。

実施日	会場	参加者数
6月 8日(日) PM	奈良県社会福祉総合センター	3世帯 6名
9月30日(火) AM	里親センターなら 研修室	2世帯 4名
1月29日(木) AM	〃	4世帯 5名

② レスパイト・ケアの調整

里親レスパイト・ケアについて、里親家庭に周知した。

里親家庭	112
施設	41

③ 里親等による相互交流

ア) 里親情報交換会「おしゃべり広場」

おしゃべり広場は奈良県里親会と共催で実施した。また、児童養護施設 飛鳥学院(桜井市)で開催される同広場にも参加し、運営に協力した。

実施日時	里親センターなら) 毎月19日 10:00~12:00
及び場所	児童養護施設 飛鳥学院) 毎月9日 同時間
参加対象	里親及び里親家庭で生活する子ども・奈良県里親会会員
内容	サロン・遊び場開放・大型イベント招待・プチ縁日・バザー
設備	遊具・乳児用体重計・ユニバーサルトイレ・自動販売機

・月別参加者数

里親センターなら	世帯	人	飛鳥学院	世帯	人
4月19日(土)	3世帯	7名	4月 9日(水)	3世帯	6名
5月19日(月)	1世帯	1名	5月 9日(金)	4世帯	4名
6月19日(木)	2世帯	3名	6月 9日(月)	0世帯	0名
7月19日(土)	15世帯	43名	7月 9日(水)	0世帯	0名
8月19日(火)	3世帯	7名	8月 9日(土)	3世帯	9名
9月19日(金)	1世帯	2名	9月 9日(火)	1世帯	2名
10月18日(土)	13世帯	38名	10月 9日(木)	2世帯	3名
11月19日(水)	0世帯	0名	11月 9日(日)	1世帯	4名
12月19日(金)	1世帯	2名	12月 9日(火)	2世帯	2名
1月19日(月)	2世帯	3名	1月 9日(金)	0世帯	0名
2月19日(木)	5世帯	6名	2月 9日(月)	0世帯	0名
3月20日(金)	30世帯	70名	3月 9日(月)	3世帯	4名

※なお、7月19日、10月19日、3月20日の詳細はイ及びウに記載している。

イ) 参加対象に合わせたサロン活動

必要に応じて様々な形態でサロン活動を実施した。また、長期休暇中の里親家庭のレスパイト・ケアの一環として、里親家庭で生活する児童(養子・実子含む)を1日預かり、当センターの職員が対応した。

「プチ縁日」
○日時：令和7年7月19日(土) 午前10時~12時 ※おしゃべり広場と合同
○会場：里親センターなら 研修室 ○参加：里親15世帯 43名
○内容：うちわづくり・クリスタルシュート・射的・スイカ割り
「レスパイト・ケア企画① 天理教教会本部子どもおぢばがえり参加」

<p>○日時：令和7年7月29日（火）午前8時30分～午後4時30分 ○会場：天理教教会本部周辺 ○参加：児童10名・関係機関2名 合計12名 ○内容：室内大型アスレチック・ステージショー・謎解きラリー・忍者村・昼食</p>
<p>「レスパイト・ケア企画② 夏休みの宿題・がんばろう会」 ○日時：令和7年8月21日（木）午前9時～午後4時30分 ○会場：里親センターなら 地域交流室・研修室・講堂 ○参加：児童9名・学生ボランティア1名 合計10名 ○内容：夏休みの宿題・学習プリント・かき氷大会・eスポーツ大会・昼食</p>
<p>「奈良市里親のつどい① 兼 奈良県北部のつどい」 ○日時：令和7年9月23日（火）午前10時～午後1時30分 ○会場：黒髪山キャンプフィールド ○参加：里親17名・児童14名・関係機関4名 合計35名 ○内容：モルック大会・食事会</p>
<p>「養子里親のつどい」 ※奈良県里親会共催 ○日時：令和7年9月28日（日）午前10時～12時 ○会場：里親センターなら 研修室 ○参加：里親17名・児童8名・関係機関1名 合計26名 ○内容：絵本の読み聞かせ（天理養徳院職員の協力）・サロン</p>
<p>「ふれあい広場」 ○日時：令和7年10月18日（土）午後3時30分～6時30分 ○会場：天理養徳院 敷地内 ○参加：里親13世帯 38名 ○内容：模擬店・ステージショー</p>
<p>「奈良市里親のつどい②」 ○日時：令和8年1月24日（土）午前10時～12時 ○会場：奈良市子どもセンター 家族療法室 ○参加：里親15名・児童8名・関係機関5名 合計28名 ○内容：お正月遊び（けん玉・福笑い・こま回し・百人一首）・おしるこ</p>
<p>「里親支援バザー」 ○日時：令和8年3月20日（金）午前11時20分～午後1時 ○会場：里親センターなら 講堂 ○参加：里親40名・児童36名・関係機関1名 合計77名 ○内容：寄附物品や里親家庭からの持ち寄り物品による無料のバザー</p>

ウ) 奈良県里親会交流会への協力

奈良県里親会が実施する交流会に、スタッフを派遣し、運営の協力をを行い、県内の里親家庭の相互交流の促進を促した。

<p>「奈良県里親会 夏の交流会 ～キャンプ～」 ○日時：令和7年8月2日（土）午前9時～3日（日）午後1時30分 ○会場：国立曽爾青少年自然の家 ○参加：里親20名・児童21名・関係機関1名 合計42名 ○内容：木工体験・カレー作り・ビンゴ大会・宿泊</p>
<p>「奈良県里親会 冬の交流会 ～クリスマス会・昼食会～」 ○日時：令和7年12月13日（土）午前10時～午後2時 ○会場：奈良佐保短期大学 ○参加：里親29名・児童38名・関係機関5名 合計72名</p>

○内容：奈良佐保短期大学地域こども学科生によるクリスマス会（お楽しみゲーム）・サロン・同大学生生活みらい学科生による昼食の提供
「奈良県里親会 ランチ会」 ○日時：令和8年2月27日（金）午前11時～午後1時30分 ○会場：PISORA大和郡山筒井店 ○参加：里親14名・関係機関1名 合計15名 ○内容：食事会
「奈良県里親会 新年会」 ○日時：令和8年2月7日（土）午後6時～8時 ○会場：くいもの屋わん大和八木店 ○参加：里親10名・関係機関3名 合計13名 ○内容：食事会
「奈良県里親会 1年間おつかれパーティ」 ○日時：令和8年3月20日（金） ※おしゃべり広場の後に実施 ○会場：里親センターなら研修室 ○参加：里親35名・児童32名・関係機関1名 合計68名 ○内容：食事会、くじ引き

エ) 招待行事の案内

「ユニバーサル・スタジオ・ジャパン招待」の案内・受入れ事務 ○主催：森田記念福祉財団 ○日時：令和8年2月1日（土）午前8時30分～各自解散 ○会場：ユニバーサル・スタジオ・ジャパン ○参加：里親23名・児童54名 合計77名
「京都水族館招待」の案内 ○主催：オリックス宮内財団 ○日時：令和8年2月14日（土）・15日（日）
「プロ野球観戦招待」の案内 ○主催：オリックス宮内財団 ○日時：令和7年4月19日（土）／20日（日） 令和7年6月28日（土）／29日（日） 令和7年9月 6日（土）／ 7日（日）

④ 里親等による援助活動

奈良県里親会と連携し、里親相互の援助活動に資する活動を企画した。

(5) 里親等委託児童自立支援業務

① 委託解除前からの自立に向けた相談支援等

里親家庭やファミリーホームを巣立つ前の児童及び養育者に対して、進路相談を行い、自立に向けた準備をサポートした。また、進学に向けての資金シミュレーションを行い、進学に向けての資金準備の支援もを行い、里親家庭から巣立つ児童の自立支援を行った。そして、職業体験等も実施し、進路に関する相談支援を実施した。

② 委託解除後の継続的な状況把握及び相談支援等

上記①の支援を行う段階から交流を行い、委託解除後の支援を実施するとともに、社会自立後の支援を行う諸団体と連携し、支援を行った。

また、森田記念福祉財団からの進学支援費の継続の上から、アフターケアとして進学先等の在学確認等の確認なども実施し、在学期間の様子を確認した。

③ その他の自立支援に資する業務

ア) 自立支援調整会議への出席

県内の社会的養護関連団体で構成する「自立支援調整会議」へ出席し、社会的養護下の児童が社会自立する上で有益な情報を共有し、里親支援に活用した。

イ) 自立生活支援研修の開催・激励金贈呈式の案内

森田記念福祉財団主催の「自立生活支援研修会」について、里親家庭・ファミリーホームを巣立つ高校3年生児童を対象とした内容を運営し、森田記念福祉財団が3月に開催される自立支援激励金贈呈式につなげた。

○日時：令和7年12月6日（土）午後1時～4時30分 ○会場：里親センターなら 研修室 ○参加：里親6名・児童6名・関係機関4名 合計16名 ○内容：自立生活支援研修会について（奈良県児童養護施設協議会 会長 岡田悟氏） ビジネスマナー（オフィスマールス 代表 出口郁子氏） 奨学金制度説明（里親センターなら） 巣立ち後の支援（自立サポートセンターwith・とらいあんぐる）
○日時：令和8年1月17日（土）午後1時～4時30分 ○会場：奈良市子どもセンター ○参加：里親6名・児童6名・関係機関4名 合計16名 ○内容：一人暮らしの生活費のやりくり（児童養護施設愛染寮 白井絵里菜氏） TPOに合わせたヘアメイク（KAEMI氏）
○日時：令和8年2月21日（土）午前11時～午後1時30分 ○会場：ベーカリーレストランサンマルク奈良学園前店 ○参加：里親5名・児童6名・関係機関4名 合計15名 ○内容：卒業祝賀会（昼食会）
「森田記念福祉財団 自立激励金及び就学支援金 贈呈式」 ○日時：令和8年3月2日（月）午前10時～11時30分 ○会場：ホテル日航奈良 ○参加：里親8名・児童6名 合計14名

ウ) 自立支援団体との連携

現在、奈良県内で社会的養護下の子どもの巣立ちを支援している団体と連携し、里親家庭やファミリーホームを巣立つ子ども達の支援に協力した。

エ) 入進学への支援

里親家庭で生活する委託児童や養子縁組児童が各種学校へ入進学するに際し、入進学等の機会に受けることのできる様々な奨学金について案内した。実際に案内した内容は以下の通り。

特別育成費（大学等受験支援）の取扱い・全国社会福祉協議会奨学金・奈良県社会福祉協議会自立支援資金貸付事業・身元保証人確保対策事業・Miomus（奨学金サイト）・日本学生支援機構受験料等支援・ゆめさぼ進学応援プロジェクト・認定NPO法人キッズドア基金・未来のつばさ自立奨学支援制度・ENEOS奨学助成

オ) 七五三お祝い助成の案内

「ゆたかな育ちと自立」応援助成事業について、対象となる児童を委託中の里親家庭に案内した。

(6) 奈良県里親会事務局業務

① 里親制度の普及、促進、発展に関する事業の運営（啓発活動）

奈良県里親会事務局として、奈良県里親会が実施する啓発活動に運営協力した。なお、詳細については、「(1) 里親制度等普及促進・リクルート業務」に記載している。

- ② 児童の育成について研究協議するための事業の運営（スキルアップ研修）
 奈良県里親会の協力の下、里親スキルアップ研修を実施した。
 また、全国里親会並びに同会近畿ブロックが主催する研修を里親会員に案内するとともに、事務局としても参加している。
- ③ 会員相互の親睦を行うための事業の運営（サロン活動）
 奈良県里親会が実施するサロン活動に運営協力した。
- ④ その他会運営に必要な事業（会議の運営、会計出納、文書管理等）
 奈良県里親会事務局として、各種会議の運営を行い、会計出納、文書管理等を行った。
 また、全国里親会並びに近畿ブロック主催会議に事務局としても参加した。

7. その他の重要事項

(1) 非常災害対策

消火器等の消化用具、非常口その他非常災害に必要な設備を設けるとともに、非常災害に対する具体的計画を立て、これに対する不断の注意と訓練をするように努めた。その一環として、年度後半より、同敷地内の児童養護施設とともに、初期消火及び避難誘導訓練に参加した。加えて、他部署との連携の下、日々の消防点検を実施した。

(2) 職員研修

① 研修会の参加

各種団体が主催する研修会に参加し、援助技術の自主研鑽に努めた。なお、参加した研修は以下の通り。※すでに前述している研修あり。

- ・日本ファミリーホーム協議会 近畿ブロック研修会（5月28日 4名参加）
- ・公益社団法人 家庭養護促進協会 年次総会（5月29日 2名参加）
- ・近畿ブロック大会里親研修会（6月29日 3名参加）
- ・児童家庭支援センターてんり専門援助講座（8月29日 1名参加）
- ・第195回 新版K式発達検査講習会（9月5日～7日 1名参加）
- ・みんなの性教育セミナー 野の花ほっとスペース（9月21日 2名参加）
- ・2025年度 メンタルヘルス講習会（9月22日 1名参加）
- ・こどもWEEKEND2025（9月26日～27日 3名参加）
- ・第70回全国里親大会北海道大会（10月11日～12日 1名参加）
- ・令和7年度奈良県児童福祉専門援助講座（11月4日 3名参加）
- ・天理大学創立100周年記念講演会（11月3日 1名参加）
- ・こども家庭ソーシャルワーク専門職養成研修（12月9日 1名参加）
- ・里親支援センター等人材育成プログラムスペシャルフォーラム（1月22日2名参加）
- ・こども家庭ソーシャルワーク専門職養成研修（2月8日 1名参加）
- ・全国退所児童等支援事業連絡会セミナー（2月17日 1名参加）
- ・当事者の語りから学ぶ養育里親の日常と役割（2月23日 1名参加）
- ・こども家庭ソーシャルワーク専門職養成研修（3月6日 2名参加）
- ・里親支援センター長 カンファレンス（3月11日 1名参加）

② 施設等への見学

同法人の他拠点施設を見学し、支援の質の向上に努めた。

「天理教三重互助園・児童家庭支援センターわかぎ・里親センター系 見学」

○日時：令和7年12月9日（木）午前8時～午後5時

○会場：天理教三重互助園・児童家庭支援センターわかぎ・里親センター系

○参加：職員7名 ○内容：施設見学及び情報交換

(3) 業務継続計画の策定

感染症又は非常災害の発生を想定して、業務継続計画を策定した。

- (4) 衛生管理
施設内や行事等で感染症又は食中毒が発生しないよう、衛生管理に努めた。
- (5) 経理
社会福祉法人天理の会計指導や内部監査等へ適切に対応した。
- (6) 秘密保持
個人情報適切に扱い、漏洩が決して起こらないよう、職員へ周知した。
- (7) 苦情への対応
支援上で発生した苦情等へ適切に対応する体制を整えた。なお、令和7年度の当センターの支援に関する苦情は0件であった。
- (8) 関係機関との連携
- ① 奈良県及び奈良市及び県内各市町村との連携
奈良県及び各市町村とは前述の通り連携し、加えて、「奈良市要保護児童対策地域協議会代表者会議」並びに、奈良市里親支援事業として、「奈良市里親委託等推進委員会」「奈良市里親認定式」にも参加した。
- ② 社会的養護関連団体等との連携
下記の会議や交流会に参加・協力した。
- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">・奈良県児童養護施設協議会 施設長会（原則毎月）・奈良県権利擁護を考える会（原則毎月）・管内心理士連絡会（奇数月）・奈良県ファミリーホーム協議会定例会（奇数月）及び交流会（年1回） |
|---|
- ③ 法人内の他部署との連携
法人内で運営する各施設と連携し、大型行事や研修会等の参加協力を行った。
- ④ 地域団体との連携
天理市スポーツ推進員として職員を派遣し、加えて施設が所在する地域の「ワガマチ合考やまのべ」の各種行事に参加協力した。
- (9) 会議
受け付けたケースの受理の可否、援助計画の策定及び支援の再評価等を毎月行った。
- (10) 記録
支援に関する記録を整備するとともに、里親支援記録ソフトの運用を進めた。
- (11) 設備管理
利用しやすい施設に資するため、常に設備内の美化に努めた。具体的には毎週木曜日の朝礼後を掃除の実働日として、全員で共用スペースを中心に掃除を行った。
また、10月の里親月間など、イベント啓発等や様々な企画実施のため、ミニバンタイプの車両のカーリースを利用した。
- (12) 労務管理
年間休日の改善につとめた。また、7月より、職員の働きやすさ向上に資するため、土曜日の開所時間を30分早め、午前8時30分から午後5時30分とした。
加えて、施設長による職員面談を実施した。
- (13) 奈良県指導監査への対応
当センターを管轄する奈良県による指導監査を受け、適切な施設運営につとめた。
- (14) 自己評価の実施
年度末に自己評価チェックシートを活用し、自己評価を実施した。

以上